

【第 1 号議案】

【 2024 年度 事業報告 】

▶総会

2024 年通常総会

【日 時】 2024 年 6 月 9 日(日)

PM14:00 から 15:00 まで

【場 所】 大阪市総合生涯学習センターとオンラインの併用開催

【出席者数】 全正会員数 22 名 うち 出席者数 11 名(うち委任状出席 8 名)

【議案】

第1号議案 2023 年度事業報告及び収支決算報告の件

第2号議案 2024 年度事業計画案及び収支予算案承認の件

第3号議案 役員選任の件

▶理事会

開催状況

今期は理事会上程の案件が無かった事と、理事各位のスケジュール調整が困難な事もあり、個別に理事の意見を聞くという事で、理事の意見を吸い上げた。

第 1 回理事会

【日 時】 2024 年 5 月 21 日(火)

【場 所】 オンライン会議

【出席者数】 理事 3 名(山本、村松、土居)、監査 1 名(堀)

第 2 回理事会

【日 時】 2024 年 8 月 19 日(月)

【場 所】 オンライン会議

【出席者数】 理事 3 名(山本、村松、土居)

第 3 回理事会

【日 時】 2025 年 3 月 11 日(火)

【場 所】 オンライン会議

【出席者数】 理事 3 名(山本、村松、土居)

▶事務局会議

スタッフミーティング/インドミーティング開催状況

毎月、スタッフ会議を定例開催した。遠方のスタッフもいるため、オンライン開催と併用で行った。

▶コミュニケーション(広報)

■事業の概要

現地の様子を伝えること、ニランジャナセワサンガの認知度を高めること、イメージアップを図ることを目的として活動した。

■2024 年度の実績と成果

<実績と成果>

ウェブサイト

SNS の更新頻度を増加させ、情報発信の強化を図った。

<課題>

- ・ウェブサイトの適時更新
- ・ソーシャルメディアの活用方法
- ・会員様・非会員とのコミュニケーション

▶支援者サービス

■事業の概要

現地情報や活動の様子をもっと知りたいとの声に応えるために発行回数を年間 3 回実施した。

■2024 年度の実績と成果

<実績>

(1)サポーターへのニュースレター「ニランジャナ通信」発行

支援者へ現地の子ども達の様子や各プロジェクトの進捗状況、イベントのお知らせなどを兼ねたニュースレターを会員及び協力者に向けて発送した。支援効果が教育の質にどのように影響しているかについて過去の成績データをもとに分析・可視化し会員へ発信した

(2)現地からのクリスマスカード発送

2024 年クリスマスカードと団体ニュースレターを合わせて、支援者のもとに郵送した。

<課題>

サポーターの方々の現地とのつながりや、会員・運営スタッフ同士のつながりの機会を作ることにより、より団体や活動に親しみを持っていただく必要がある。

▶スタディツアー事業

■事業の概要

インド・ビハール州ニランジャナスクールでの授業ボランティアや、近隣の村への訪問などを通し現地の住民たちと触れ合うことで、参加者の見聞を広めるとともに、現地での様々な体験を通じて、児童やスタッフと国境を越えた関係性を築くことを目的としたプログラムである。

■2024 年度の実績と成果

<実績と成果>

引率スタッフの人員不足により、スタディーツアーは実施できなかった。

▶イベント事業

■事業の概要

イベントへの参加及びブース出店を通し、広く団体の活動を知って貰う。

■2024 年度の実績と成果

<実績と成果>

ここ数年継続して参加させていただいているイベントに加え、今年度は身近に参加しやすいイベントということで、インド料理屋 Shama 様でのランチやディナーイベントを開催した。

- I. 生涯学習フェスタ 2024 参加し、ブース出展を行なった。
- II. ワンワールドフェスティバル 2024 参加し、ブース出展を行なった。
- III. 愛地球祭り 2024in 東京、京都参加し、ブース出展を行なった。
- IV. BEAM SCHOL 開校14年記念イベント他インド料理屋 Shama 様で食事会形式のイベント実施
- V. 民主主義ユースフェスティバル inKOBÉ に出展を行った。

▶ 研修・セミナーの開催と参加

①大阪市総合生涯学習センターネットワークサロン

日時 2025 年 2 月 23 日(日) 14:00~16:00

場所 大阪市総合生涯学習センター

内容 「インドバーチャルツアー」

インドスジャータ村をディベンドラ氏や現地スタッフに案内して頂く。

又その機会に当団体の活動やインドビハール州の状況や教育事情の講演を行った。

今年度は、高校生スタッフがニランジャンスクールの子どもたちと参加者が一緒にヨガをする企画を実施

②with the world 様とバーチャルツアー企画実施

日時 2024 年 8 月 3 日

場所 オンライン

内容 with the world 様運営のとも現地学校の子どもたちとオンラインで繋ぎ日本人参加者と交流をした。

▶ 支援地域での活動

インド①▶ 学校教育

■事業の概要

「他者への思いやりの心を育てること」を教育の理念とし、現地パートナー団体ニランジャントラストと連携を取り合いながら、貧困地域において学校教育を提供している。学力向上及び自立支援授業、教科書配布、制服支給を無料で実施。(一部支払い可能なご家庭は学費や制服の費用を負担)

2003 年よりブッダガヤ周辺の 17 の村々の最貧困層の子どもたちを対象に、学校教育を支援しており、これまでに 17 年間、年間約 500 名の子どもたちに、無償支援。授業料が払えない、制服や教科書を買うことができない子どもたちのために支援を行う。

地域の教育レベルの底上げに力を入れていくと同時に、経済的貧困が理由で進学・就職ができないという子どもたちを支援するために、義務教育の期間を終えるまで、学校教育を提供している。

教育面で特に力を入れているのが、英語、一般教養、そして国際交流である。世界情勢を幅広くとらえ、国境を越えた視野を持つことができるよう、世界各国からのボランティアを受け入れ、授業やワークショップに積極的に参加することで実践的なコミュニケーション能力を培う。学校には、ヒンドゥー教、イスラム教、仏教、シーク教などさまざま宗教背景を持つ子どもたちが一同に学んでおり、すべてのカーストの子どもたちが分け隔てなく一緒に机を並べる。

■2024 年度の実績:

教育の現状を把握するため過去 8 年分の定期テストに関する成績データを収集し見える化を行いました。見える化したデータと並行して、生徒へのアンケート調査を用い現地スタッフと意見交換を行い、「学校教育の質を向上するために何が必要であるか」を考えるきっかけを作ることを目的としました。

2020 年、新型コロナウイルスの影響により、約一年間学校休校が続き、2021 年度は例年よりも成績が低くなりましたが、2022 年度以降、コロナ禍以前同様の成績に回復しました。

コロナ禍の中でも、スマートフォンの提供を行い、オンライン授業の環境を整えられたことや、現場の先生方が家庭訪問を行い、自習サポートを実施したことが地域の教育環境を守ることができたと推測されます。

20 年以上我々が活動してきたことにより、スジャータ村の子供たちが学習の機会を得ることができていますが、この 20 年で支援地にさまざまな NGO スクールが乱立しており、ニランジャナスクールの特徴を見つめ直すことが必要だと考えます。また、経済発展が著しいインドで、必要とされる教育の在り方を現地のスタッフと話し合い、学習内容や教育環境の改善、さらに IT リテラシー(PC に関する知識)の格差是正に取り組んでいきます。

インド②▶孤児院(ドミトリー)

■2024 年度の状況:

・日本からの送金だけではやっていけない為、新規の孤児受け入れは行っていない。

インド③▶スジャータ・アシュラム(職業訓練校)

■事業の概要

女性の地位の向上に向け、家庭の中でも自信や誇りを持ち、強く生きていけるようにと始まったプロジェクト。2011 年にスジャータ・アシュラムが完成。

裁縫教室、メヘンディ教室、ペイント教室、識字教室を実施。

■2024 年度の状況:

チームピースチャレンジャーの支援と生産委託で、仕事としての縫製・収入と技術習得の機会を提供している。今年度は昨年度から継続し上記団体と連携を深め、イベント出店時に当団体で販売実施

また、2024 年 12 月関西 NGO 協議会から助成金を獲得することができ、2025 年度より IT 教室を新たに開校することとなった。

インド④▶植林・有機農業

■事業の概要

乾燥・干ばつ被害が広がるビハール州南部に林や森を取り戻し、生物多様性を回復させるとともに地球温暖化を防止する。また、植林と有機農業の混合実績によりアグロフォレストリー(森をつくる農業)のモデルケースとなることを目的としたプロジェクト。開始から 7 年がたち、マンゴーが実るようになり、その他の木々も順調に育ってきている。植林地を動物侵入による被害から守るため、柵の建設を開始している。有機農業の畑にて、土作りと再耕作を計画した。

■2024 年度の実績と成果

・今年度実施報告なし。

インド⑤▶学校の先生方にユニフォーム配布

■事業の概要

今年度現地にスタッフが渡航した際にニランジャナトラストのスタッフ全員にポロシャツとトートバックを配布

■2024 年度の実績と成果

・スタッフの業務環境改善の要望がここ数年続いており、その一環として今回勤務時の制服としてポロシャツやトートバックを寄付いたしました。全スタッフが同じユニフォームを着ることで一体感が生まれ、チームワーク向上に寄与していると感じています。

インド⑥▶診療所

■事業の概要

政府の病院では、長時間待つことや、1 人の医師に対する患者数が多いことから質に問題がある。当診療所は、人々の治癒力を向上させるホメオパシー療法を用い、安価な値段で医療を提供している。

■2024 年度の実績と成果

・数回、訪問診療の実施